



# 空き家を活用して病床数を確保！！

香川県立善通寺第一高校  
西田こはる 西川理子

3 すべての人に  
健康と福祉を



# 探究の目的

自宅療養をすることで家庭内感染が不安...



空き家を活用して、軽症や無症状の方たちを一時的に療養しよう！



# 研究内容

病床のひっ迫状況

ホテル療養者に対する対応

自宅療養における問題

香川県の空き家の状況

# 研究方法

- ・ 看護師さんへのインタビュー
- ・ インターネットでの情報収集

# 研究結果

- ・ ある病院では、病床数 6～8床 **ICUには重症患者用に2床確保**
- ・ 病床使用率**53%**(2/17時点)
- 患者の**58%**が自宅療養、**11%**が無症状、**83%**が軽症、中等症

## 考察

- ・ 家庭内感染のリスクを少なくし、感染拡大を抑える  
感染に対する不安を和らげ
- ・ 病院の近くの空き家を活用することで、患者の容態が急変してもすぐに対応できる
- ・ 空き家活用で、重症患者のために病床をとができる

## 今後の展望

- ・ 今後に向けて、空き家を避難所、療養所にして、  
香川県の空き家問題を『医療や災害に強い香川県』の財産へ